



工学部  
教授 長谷川 修一

職名	研究員
専門分野	地質工学 地盤工学 地域防災
研究テーマ	(1)地震や豪雨による斜面災害の予測とソフト対策 (2)防災マップの作成方法と利活用に関する研究

主な著書 論文 地域貢献活動

(論文)

- 1) R. K. Dahal, S. Hasegawa, M. Yamanaka, N.P. Bandary, R.Yatabe: Towards early warning system of rainfall-induced landslide in Nepal., Internatinal seminar on manegement and mitigation of water induced disasters, 39-57,2008.
- 2) 長谷川修一 ,加藤真吾 ,野々村敦子 ,山中稔 :専門家参加型防災マップの作成と課題 ,第8回四国の地盤災害・地盤環境に関するシンポジウム論文集 ,pp.83-90 ,2008 .
- 3)長谷川修一 ,三村亨 ,Ranjan Kumar Dahal, 山中 稔 ,野々村敦子 斜面崩壊規模の指標としての谷密度の可能性 ,第8回四国の地盤災害 地盤環境に関するシンポジウム論文集 ,pp.11-18 ,2008 .
- 4)西村俊明 , 野々村敦子 ,山中稔 ,Dahal, R.K. ,長谷川修一 地形量に基づく斜面崩壊予測手法は新潟県中越地震による斜面崩壊地点を予測できるか,土木学会四国支部平成 20 年自然災害フォーラム論文,pp.29-36,2008.1.
- 5) 長谷川修一 ,山中 稔 ,鶴田聖子 ,斎藤章彦 地盤情報データベースを活用した高松市内の主要道路の液状化危険度 土木学会四国支部 「21 世紀の南海地震と防災」,Vol.2, 95-107, 2007 .
- 6)田村栄治 ,長谷川修一 ,渡辺弘樹 ,宮田和幸 ,矢田部龍一 ,内田純二 ,中央構造線沿いの熱水変質に起因した地すべり:日本地すべり学会誌 ,Vol.44 ,No.4 ,18-32 ,2007 .
- 7)R. K. Dahal, S. Hasegawa, A. Nonomura, M. Yamanaka, T. Masuda, and Katsuhiko Nishino :GIS-based weights-of-evidence modeling of rainfall-,induced landslides in small catchments for landslide susceptibility mapping,Environmental Geology,Vol.54,No.2,pp.314-324 ,2007 .
- 8)斎藤章彦 ,長谷川修一,山中稔,香川慶孝,林宏一 :表面波探査および常時微動を用いたため池堰堤の増幅特性評価 ,土木学会地震工学論文集、713-721.,2007
- 9)矢田部龍一 ,長谷川修一 ,岡村未対 ,ネトラ・バンダリー :南海地震に対する四国地域の地盤防災の現状 ,地盤工学会誌 ,Vo 155 ,No.5 ,11-13 ,2007 .
- 10)稲垣秀輝 ,ネトラ・バンダリー ,長谷川修一 ,矢田部龍一 :ネパール 最重要道路のハザードマップとリスク管理 ,日本地すべり学会誌 ,Vol.42 ,No.6 ,38-45 ,2007 .

(社会貢献)

- 国土交通省四国地方整備局道路防災 ドクターなど  
香川県国土審議会委員など  
高松市などの地域防災リーダー育成講座講師など